



村田 崇 さん

(江良区)

昭和49年12月25日生

【JA長門大津】

※仕事は 入ったときは、信用部貯金為替課でしたが7月に現在の推進課に配属されました。集金などお客様まわりがほとんどで、朝9時頃事務所を出て午後5時頃まで外勤。帰って伝票等の整理や明日の準備をして夜8時~9時頃帰宅します。受け持ち地区は、上川西1・2区、板持3区、境川です。訪問先でお客様と話をするなど人に会えるのが楽しい。充実した日々を過ごしています。でも、雨の日は合羽を着て単車を運転するので大変です。

※趣味は これといった趣味はないが、買い物とドライブをすること。よく広島・福岡に行っています。休日は一人でのんびりすることが好き。仕事で気を使っていますから…

※好きな言葉は 「人事を尽くして天命を待つ」中途半端なことが嫌い。与えられたことをきっちりやったら結果は後からついてくるものだと思っています。

※気をつけていることは 仕事から毎日お客様との約束があります。風邪など病気で休めないのので、健康管理に気を付けています。これといって特別なことはしていませんが、精神面で気を張って生活するようにしています。

※結婚は 明るく元気でおしゃべりなくらいの方がいい。結婚しても共稼ぎを希望。女性も家にいるより外で働いていた方がいいと思う。

※どんな街を 長門市を離れて初めて長門の海の美しさを知った。いつまでもこのままであって欲しい。以前青海島巡りをしたことはあったが、もう一度行ってみようと思っています。

※自由に一言 いつも単車でウロウロしていますので、声を掛けてください。

県道下関長門線
バイパス全面開通



板持と小浜をつなぐ県道下関長門線バイパスが完成、8月7日開通式が中央公民館で行われました。

県が平成元年から整備を進めていたもので、全長3.6キロ(内約2キロは供用開始済み)の片側1車線。市中心部の慢性的な交通渋滞の解消、青海島、湯本温泉、依山温泉等の観光をはじめとした地域の活性化に大きく貢献するものと期待されます。

3 漁協の招待で
地引き網を体験



依山湯の家の子ども達が7月29日、只の浜で地引き網に挑戦しました。仙崎、湊、通の3漁協が招待したもので、参加した11人は、藤田市長や漁協職員と一緒に元気に網を引きました。取れたタイやカワハギは、用意されたサザエやイカなどと一緒に、その場でバーベキューにして会食しました。また、イカのさばき方を体験したり、スイカ割りなども行われ、みんな楽しく1日を過ごしました。

1987年の秋、長年の夢がやっと叶い萩・津和野・秋吉台への旅に出ました。行った先々での楽しい思い出も然ることながら、仙崎の乗船場近くの神社に金子みすゞの詩がありました。恥ずかしながら当時みすゞのことを存じませんでしたが、やさしい響きに何度も読み返し覚えてしまいました。(記憶違いがなければ)「はらはらと松の葉が落ちるお宮の秋はさみしいな のぞきの唄よガスの灯よ赤の帯した肉桂よ いまはこわれた氷屋にさらさら秋風吹くばかり」みすゞのことを知ったのは5~6年たってからでした。こんなに温かい詩人の生まれた長門市の記念館を訪ねて、もう一度行ってみたい。



三重県津市
豊田洋子 さん

みすゞの会

応援団